

女性医師支援に関するアンケート調査

※9/29大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会で配布。

<大学医学部>

82大学医学部中65大学医学部が回答。回答率:79.3%

問1: 在校生数・女子学生数・教官数・女性教官数

(n=63)

女子学生数割合	大学医学部数
100%	1
40%台	8
30%台	33
20%台	16
10%台	5

(n=61)

女性教官割合	大学医学部数
30%台	1
20%台	18
10%台	39
10%未満	3

問2: 女性医師支援や男女共同参画推進の部門の有無 (n=64)

	大学医学部数
A有り	34
B無し	28
C設置予定または検討中	2

問3: 部門での活動内容 (複数回答)

	大学医学部数
A会議	19
B復職支援・就業情報の提供	22
Cキャリア形成セミナー	21
D再研修プログラム	8
E潜在者への定期的アプローチ	8
Fその他	12

※その他の自由記述は後述

問4: 医学部教育の中での講義の存在 (複数回答、本調査へ回答した大学医学部数=65)

	大学医学部数
Aキャリア形成	52
B男女共同参画	32
C地域医療	53
D医師会活動	11
E卒業生に対する就業・復職フォロー (潜在化医師の把握)	5
Fその他	3

※その他の自由記述は後述

問5: 女性医師バンク広報の際の情報提供の協力 (複数回答、本調査へ回答した大学医学部数=65)

	大学医学部数
A同窓会誌にチラシ同梱	14
B関係講義内での情報提供	18
Cその他	23

※その他の自由記述は後述

問2: 女性医師支援や男女共同参画部門の名称

ID	大学名	名称
001	北海道大学	男女共同参画推進室
003	旭川医科大学	復職・子育て・介護支援センター
006	東北大学	男女共同参画推進委員会
010	福島県立医科大学	男女共同参画支援室
011	筑波大学	女性キャリアアップ支援
012	自治医科大学	地域医療推進課女性医師支援
015	埼玉医科大学	女性医師支援部門
019	東京大学	男女共同参画室
020	慶應義塾大学	男女共同参画室
021	東京慈恵医科大学	女性医師キャリア支援室
023	日本医科大学	女性医師・研究者支援室(※法人本部に設置)
028	帝京大学	女性医師・研究者支援センター
030	東邦大学	ダイバーシティ推進センター
040	福井大学	男女共同参画推進センター
042	信州大学	信州医師確保総合支援センター信州大学医学部分室
043	岐阜大学	岐阜大学医学部付属病院女性医師就労支援の会
049	三重大学	①臨床研修・キャリア支援センター②男女共同参画推進室など
050	滋賀医科大学	男女共同参画推進室
052	京都府立医科大学	男女共同参画推進センター
055	関西医科大学	卒後臨床研修センター女性医師支援部門
056	大阪市立大学	女性医師・看護師支援センター
058	兵庫医科大学	男女共同参画推進本部・推進室(法人)女性医師支援プロジェクト
060	奈良県立医科大学	女性研究者支援センター
061	和歌山県立医科大学	ワークライフバランス支援センター
062	鳥取大学	ワークライフバランス支援センター
063	島根大学	男女共同参画推進室・医学部付属病院ワークバランス支援室
067	山口大学	男女共同参画支援部門
068	徳島大学	AWAサポートセンター
069	香川大学	男女共同参画推進室
073	九州大学	きらめきプロジェクトキャリア支援センター
076	佐賀大学	佐賀大学医学部ダイバーシティ推進委員会
079	大分大学	女性医療人キャリア支援センター

問3: 部門での活動内容

その他記述
病後児保育室運営短時間雇用制度
研究支援制度の導入
相談窓口、各地域での懇談会、女性卒業生の訪問調査
シンポジウム開催等
講演会の開催
研究支援員制度、女医枠利用者との面談
長野県修学資金貸与者の面談
小学校夏期休業期間における学童預かりサービス2日間
臨床研修・キャリア支援センターの活動内容、男女共同参画推進室の活動内容
病児保育室運営・学内保育所運営補助、柔軟な勤務形態と研究支援員制度の導入、啓発事業の企画・実施
女性医師の研究支援
定期的なメール配信により、ワークバランスに関わる情報提供、先輩医師からのキャリア形成セミナー、院内保育所、病児保育室
女性医師の集い

問4: 医学部教育の中での講義の存在。

その他記述
女性医師を講師に招いてキャリアパス特別講演会を実施している。
医療行政についての勉強会
医学生と医師の卒後キャリア形成に関する情報交換会

問5: 女性医師バンク広報の際の情報提供の協力。

その他記述
ポスター掲示
窓口に資料設置
学内電子掲示板での周知
学生に向けたチラシの掲示
今のところ保留でお願いします
女性医師・研究者支援室ホームページへの掲載
チラシを大学内にて掲示
医学部教員、及び研修医への配
ダイバーシティ推進センター宛にお願い致します。
学内において積極的に離職防止、復職支援を実施しているため不要です
ポスターの掲示
学内掲示、学内のシック等での配布
今の段階では特にありません
学生へ冊子を配布
掲示
大学内掲示板で掲示
会議等でチラシの配布
Websiteのリンク、ポスター掲示等
学内の既存組織と連携して周知させていただきます
学生や初期研修医に対して事業を説明してあげてください
附属病院女性医師部会を通じたのチラシ配布
学生がガイダンス時に資料を配布することは可能
ポスター掲示等

問6: ご意見・ご要望。

記述
素晴らしい活動であり、より周知して頂き、安心して働ける環境作りをさらにすすめて頂ければ有難いです
こういった活動は表面的にやっているということだけでは駄目で何をを行い、どのような結果が出て来ているのか分析が重要である。それには大学全体での取り組みをもっと行うべきであると思う。
平日の診療時間内の会議は外来・手術をぬけていかななくてはならないので曜日をかえて頂けませんでしょうか
貴会女性医師支援センターの取り組み、特に「女性医師バンク」について、若手女性研究者を中心に周知を進めるとともに、制度構築の参考にさせていただきたいと考えています。
先日の日本医師会館での会、大変勉強になりました。最新情報を多く知ることができるので、毎年楽しみにして参加しています。今後ともよろしく願いいたします。
大阪市立大学は文科省ダイバーシティ事業を推進しています。貴センターの取り組みに積極的にご協力させていただきます。当方からの希望は、大学病院・医学部と民間病院との格差をご検討いただければと思います。
女性医師の勤務環境の現状調査の報告結果はぜひとも公表していただき、今後の女性医師の働き方改革につとめていただきたいと思います。

<学会>

128学会中79学会が回答。回答率:61.7%

問1: 医師数・女性医師数・専門医数・女性専門医数
(n=77)

学会員数	学会数
20,000～	7
15,000～19,999	6
10,000～14,999	13
5,000～9,999	19
5,000未満	32

割合	学会数	
	女性医師(n=61)	女性専門医(n=57)
40%台	1	2
30%台	6	5
20%台	16	15
10%台	31	21
10%未満	7	14

(本調査へ回答した学会数=79)

	学会数
専門医制度なし	16

問2: 役員数・評議員数

	女性割合	学会数
会長(理事長) (n=72)	0%	72
副会長 (副理事長) (n=44)	100%	2
	50%	2
	0%	40
理事 (n=77)	20%台	6
	10%台	14
	0%超10%未満	31
	0%	26
評議員(代議 員) (n=75)	30%台	3
	20%台	6
	10%台	21
	0%超10%未満	44
	0%	1

問3: 専門医取得年数と更新年数

(n=59)

専門医取得最短年数	学会数
1	1
3	16
4	7
5	17
6	9
7	7
8	2

更新年数	学会数
5	62

問4: 専門医更新、更新を認めた実績(複数回答)

(本調査へ回答した学会数=79)

	学会数
A国内外の研究留学	36
B病気療養	26
C育児	25
D介護	13
Eその他	14

※その他の自由記述は後述

問5: 女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織

(本調査へ回答した学会数=79)

	学会数
有り	54
設置予定または検討中	6
無し	19

※その他の自由記述は後述

問6: 内部組織での活動内容(複数回答)

(本調査へ回答した学会数=79)

	学会数
A医学部医学課程学生との意見交換会	6
B若手医師との意見交換会	10
C学術集会展示ブースで情報提供	13
Dシンポジウム開催	36
Eメンター制度の導入	5
F学術集会でキャリア相談等窓口設置	6
Gその他	20

問7: 女医バンク広報の際の情報提供の協力

(本調査へ回答した学会数=79)

	学会数
A学術集会での展示ブース設置	26
B学術集会でシンポジウムの共催	16
C学会誌等の会員への郵送物にチラシ同梱	12
D学会ホームページや会員への配信媒体に情報掲示	49
E医学生、研修医等をサポートするための会の共催	16
Fその他	5

問4: 専門医更新を認めた実績、その他自由記述

その他(具体的に)
更新に必要な生涯学習単位を満たせばA~Dの状況でも認めた実績はある
研修単位の条件を満たしている場合は認定している更新延長の措置あり。
A~Dの理由で最長5年の休会申請を受け付け、復会後に更新申請をしてもらう。
個別案件ごとに審査を実施
回答は「なし」。ただし、認定期間を延長できる制度はあります。
A~Dの場合、延長できる制度あり
Aは休会していなければ可、B.C.Dは保留理由に記入すれば不可
上記ABCDの条件でも更新基準を満たすことができれば更新可能
東日本大震災による津波被害
被災
単位不足
大震災、大地震
A~Dでの実績は無し、本人の申出により更新猶予1年は認める
検討中
資格喪失後2年までは更新可(理由は不問)
災害、出産
更新手続きの延長
申請期間や申請書類などの必要条件を満たせば、上記選択肢のケースも更新を認めた実績はございます。A~C
諸事情により単位取得ができない場合は資格継続猶予を認めている
休止申請すると、更新期間の延長ができる
上記全て、更新保留期間中(1年間)に要件を充足することが必要

問5:組織名称と女性比率

ID	学会名	組織名称	女性比率
002	日本解剖学会	男女共同参画推進委員会	55.6%
006	日本病理学会	男女共同参画委員会	70.0%
007	日本癌学会	日本癌学会女性科学者委員会	71.4%
008	日本血液学会	総務委員会男女共同参画部会	50.0%
029	日本皮膚科学会	キャリア支援委員会	90.0%
030	日本泌尿器科学会	男女共同参画委員会	69.2%
032	日本医学放射線学会	男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会	62.5%
040	日本産業衛生学会	男女共同参画推進小委員会	57.1%
041	日本気管食道科学会	男女共同参画委員会	40.0%
042	日本アレルギー学会	男女共同参画委員会	66.7%
045	日本麻酔科学会	男女共同参画プロジェクト	60.0%
047	日本脳神経外科学会	男女共同参画検討委員会	31.3%
048	日本輸血・細胞治療学会	男女共同参画委員会	72.7%
051	日本糖尿病学会	女性糖尿病医をpromoteする委員会	83.3%
053	日本神経学会	キャリア形成促進員会	55.6%
054	日本老年医学会	男女共同参画委員会	50.0%
055	日本人類遺伝学会	キャリアパス委員会	50.0%
056	日本リハビリテーション医学会	リハビリテーション科女性医師ネットワーク(RJN)委員会	100.0%
058	日本腎臓学会	男女共同参画委員会	65.6%
059	日本リウマチ学会	男女共同参画委員会	46.2%
062	日本肝臓学会	男女共同参画委員会	71.5%
063	日本形成外科科学会	女性医師支援ワーキンググループ	90.0%
064	日本熱帯医学会	男女共同参画推進委員会	50.0%
065	日本小児外科科学会	ワークライフバランス検討委員会	60.0%
073	日本生殖医学会	男女参画委員会	50.0%
074	日本救急医学会	男女共同参画推進特別委員会	62.5%
077	日本消化器内視鏡学会	女性内視鏡医キャリアサポートワーキンググループ	40.0%
081	日本心臓血管外科学会	男女共同参画ワーキンググループ	54.5%
089	日本呼吸器外科学会	男女共同参画女性医師支援部会	50.0%
090	日本医学教育学会	生涯・キャリア教育委員会	42.9%
093	日本集中治療医学会	男女共同参画ワーキンググループ	75.0%
100	日本透析医学会	男女共同参画推進委員会	57.1%
102	日本乳癌学会	男女共同参画委員会	54.5%
103	日本肥満学会	女性会員の活動を推進するための委員会	100.0%
109	日本プライマリ・ケア連合学会	男女共同参画委員会	-
110	日本手外科学会	女性医師支援ワーキング	100.0%
112	日本緩和医療学会	総務・財務委員会	40.0%
113	日本放射線腫瘍学会	男女共同参画・ダイバーシティ検討ワーキンググループ	57.1%
118	日本磁気共鳴医学会	男女共同参画ワーキング委員会	50.0%
122	日本ペインクリニック学会	男女共同参画推進ワーキンググループ	75.0%
123	日本病態栄養学会	将来計画委員会	33.3%
124	日本認知症学会	男女共同参画推進委員会	50.0%
016	日本内分泌学会	男女共同参画推進委員会	-
017	日本内科学会	男女共同参画ワーキンググループ	71.4%
018	日本小児科学会	男女共同参画推進委員会	62.5%
019	日本感染症学会	男女共同参画推進委員会	50.0%
021	日本消化器病学会	キャリア支援委員会	53.8%
022	日本循環器学会	男女共同参画委員会	50.0%
023	日本精神神経学会	男女共同参画推進委員会	75.0%
025	日本整形外科学会	女性医師支援等検討委員会	80.0%
026	日本産科婦人科学会	男女共同参画WB改善	46.2%
027	日本眼科学会	戦略企画会議	20.0%
028	日本耳鼻咽喉科学会	男女共同参画委員会	60.0%

問6: 内部組織での活動内容(複数回答)

その他(具体的に)
評議員選出女性特別枠制度
男女共同参画学協会連絡会への加入、女性研究者のメーリングリスト作成、交流会の実施
ポジティブ・アクション等の推進、内科系他学会の同組織との連携
来年度からシンポジウム等開催予定
現状把握のためのアンケート調査etc
日本眼科医会と連携して、女性医師支援セミナーを開催
HP上での情報提供、日本医師会女性医師支援センターの共催により女性医師連絡会を開催
総会における教育講演、研修医・医学生対象サマースクール、メンター&メンティー相談会、リーダー養成ワークショップ
転居等に伴う就職に関する相談窓口の開設、女性泌尿器科医師を取り巻く環境やキャリア形成に関するアンケートの実施や公表
活動等検討中
学術集会へのシンポジウム案の作成、当学会HPに専用サイト設定についての検討、学術集会の座長、シンポジストの女性起用の促進を検討している。
学術集会での託児室の設置アンケート及び実行
学会ホームページでの情報発信、理事会・各会長等への女性参画推進に関する働きかけ
中学生、高校生へのサイエンスカフェ実施
広報誌「達人の流儀」発刊、学会HPでの広報
①学術大会におけるシンポジスト、司会への女性の積極的登用の助言②各種委員会への積極的登用への助言③他学会との情報共有と連携
女性医師へのポジティブアクション推進、会員の働き方現状調査、男女共同参画に関する講演会の企画等
今秋始動したばかりのため、まずは女性会員へ託児所に関するアンケートを実施予定です
会員へのアンケートで問題点や支援の必要な点の抽出中
会員向けの「動く環境に関するアンケート調査」実施
昨年度に組織として活動が始まり、今後の活動を検討中
スタートしたばかりです
男女共同参画・ダイバーシティに関する実態調査の実施
学術集会における男女参画支援事業
毎年、学術集会時に男女共同参画プログラムを実施

問7: 女性医師バンク広報の際の情報提供の協力

その他(具体的に)
A~Dに関して依頼があった場合に、その都度検討している
学会での展示ブースに資料を置く
ご依頼いただいた後の検討となります
HPに掲載
今後検討させていただきます。

問8:ご意見・ご要望

記述
<p>貴センターのご活動について今後も情報提供いただけましたら幸いです。</p>
<p>日本医師会主催の「女性医師支援担当者連絡会」に大学だけでなく、学会からの参加を要請していただけただけで、いくつかの学会の男女共同参画推進活動のご発表などを聞かせて頂き、大変参考になります。しかし、発表時間の制限もあり、まだ一部の学会の一部の活動しか情報として入りません。他学会主催のシンポジウムに参加させて頂くことで、他学会の男女共同参画推進活動を伺うこともできますが、これも情報が限られています。もし、できれば、各学会に共通のフォーマットのアンケートなどで、情報の比較検討ができればありがたいです。</p>
<p>・学会時などの託児所設置 ・代替医師 ・時間外保育 ・代議員などの、女性医師枠 ・細やかなコーディネート、相談機能</p>
<p>問7につきまして、早めにご相談いただけましたら考慮可能です。</p>
<p>いつもご連絡ありがとうございます。今まで通り、貴医師会からの女性支援・男女共同参画に関する活動のご連絡いただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>問1、問3、問4の専門医制度については、本会で行っている専門医制度に置きかえて回答しておりますことを申し添えます。【認定医学教育専門医資格制度】http://jsme.umin.ac.jp/cmes/index.html</p>
<p>本会では、評議員であるかどうかを問わず、各種委員会のメンバーに最低1名の女性委員を入れることにした。</p>